

2018年7月17日
第95号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

「第12回被爆者の声をうけつぐ映画祭2018」で、 吉永小百合さんが「ヒバクシャ国際署名」を 集める人たちにエール!



提供 被爆者の声をうけつぐ映画祭
(撮影:小宮広嗣)

7月14日、第12回被爆者の声をうけつぐ映画祭(主催・被爆者の声をうけつぐ映画祭実行委員会など、会場・武蔵大学江古田キャンパス)で『愛と死の記録』上映前トークに参加された吉永小百合さんを囲み記者会見がおこなわれました。その席で、吉永さんも賛同人になっていただき、2016年4月から始まった「ヒバクシャ国際署名」は昨年10月、515万人分を国連に届け、今年度中に1000万人分を集め国連に届けようとしていると伝え、全国、世界中で署名活動をしている人への励ましの言葉をお願いしたところ、コメントをいただくことができました。

〈吉永小百合さんのコメント〉

「私たち個人個人はみんな核兵器をなくしてほしいと思っているけれど、国が、例えば核兵器禁止条約を批准するには核兵器を持っている国からの圧力があるということはこの前新聞で読みました。一人ひとりが声を出していけばぜったいに世界を動かすことができます。諦めないでやっていきましょう」

「この素敵な名前の映画祭を知りませんでした。1966年の映画を上映してくださるので、ごあいさつに伺いました」と切り出した吉永さんは、「この映画は、大江健三郎さんの『ヒロシマ・ノート』をもとにして作られました。原爆ドームや原爆病院での撮影をよく許可してくれたものだと思います」と、撮影当手を振り返って話しました。…

吉永さんは、「昨年、核兵器禁止条約が採択され、ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)がノーベル平和賞を受賞するということがあり、本当に嬉しかったです。日本が禁止条約に参加しないことで、どれほどの被爆者の方たちが辛い思いをされていることか。私も皆さんと一緒に行動していければと思います。他人のことではなく、自分の問題なんです」と話されました。

7月19日は、安倍政権の政治責任を追及し、即刻退陣を求め、みんなで声をあげましょう。 国会議事堂正門前に集まりましょう！

・憲法共同センターは南庭です！

○7月15日付朝日新聞・毎日新聞の東京本社版、および東京新聞に、7.19国会前大行動への参加を呼びかける意見広告が掲載されました。豪雨災害なのに、政府・自民党は議員宿舎で飲み食いなど国民の怒りは沸点です！即刻退陣を徹底的に迫りましょう！

○19日大行動の賛同団体は23団体になりました。

○当日は、各立憲野党代表と市民の連帯挨拶のあと、パフォーマンス→数千本のキャンドルを掲げ、歌とコールで、アピールします。

【賛同団体】安倍9条改憲NO！全国市民アクション／安全保障関連法に反対する学生の会／安保関連法に反対するママの会／安保法制違憲訴訟を支える会／安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合／AEQUITAS エキタス／基地の県内移設に反対する県民会議／改憲問題対策法律家6団体連絡会／九条の会／共謀罪NO！実行委員会／原発をなくす全国連絡会／雇用共同アクション／さようなら原発1000万人アクション／宗教者九条の和／Stand For Truth／TPP プラスを許さない！全国共同行動／「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会／日本労働弁護団／「秘密保護法」廃止へ！実行委員会／未来のための公共／森友・加計問題の幕引きを許さない市民の会／立憲デモクラシーの会

ポスティング用チラシ、バナーなどは、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」のHPに掲載されています。活用してください。



29000人が声をあげた6・10大行動のように

国連が核兵器禁止条約を採択して1年、原水禁世界大会に職場、地域から代表を送りましょう！